

第31回中国高等学校弓道新人大会要項（案）

主催 中国高等学校体育連盟・中国地域弓道連合会
共催 岡山県高等学校体育連盟
後援 岡山県教育委員会・（公財）岡山県スポーツ協会・（公財）全日本弓道連盟・山陽新聞社
（申請予定）
主管 岡山県高等学校体育連盟弓道専門部・岡山県弓道連盟

1 期 日

(1)大会受付 令和5年11月17日(金) 8:30
(2)公式練習 令和5年11月17日(金) 9:00～15:00
(3)開会式 令和5年11月17日(金) 16:00～
(4)競 技 令和5年11月18日(土)～19日(日)
(5)閉会式 令和5年11月19日(日) 13:30～
(6)諸会議 専門委員長会議：令和5年11月17日(金)13:30～
監督会議：令和5年11月17日(金)15:10～

2 会 場 総社市スポーツセンター（きびじアリーナ）

：総社市三輪 1300 (0866)93-2100

(1)開会式・競技・閉会式：きびじアリーナ
(2)専門委員長会議：会議室
(3)監督会議：きびじアリーナ

3 日 程

11月17日(金) 9:00 公式練習
13:30 専門委員長会議
15:20 監督会議
16:00 開会式
16:30 矢渡し
11月18日(土) 9:30 個人競技 予選1回戦 [男子・女子]
10:25 個人競技 予選2回戦 [男子・女子]
11:20 個人競技 決 勝
11:50 個人競技 表 彰 式
12:40 団体競技 予選1回戦 [男子・女子]
14:10 団体競技 予選2回戦 [男子・女子]
団体競技予選同中競射 [男子・女子]
16:00 組み合わせ抽選会
11月19日(日) 9:30 団体競技 決勝トーナメント1回戦 [男子・女子]
11:20 団体競技 決勝トーナメント準々決勝 [男子・女子]
団体競技 5位～8位決定競射 [男子・女子]
12:50 団体競技 決勝トーナメント準決勝 [男子・女子]
13:20 団体競技 3位・4位決定戦 [男子・女子]
13:35 団体競技 決勝トーナメント決勝 [男子・女子]
14:00 閉会式

*上記は予定の時間です。若干前後することがありますので、注意してください。

4 競技種目 個人競技 男子の部・女子の部
団体競技 男子の部・女子の部(1校選手3名・補員1名以内)

- 5 競技方法
- (1) 36cm霞的，距離28m，的中制。
 - (2) 行射は，個人競技並びに団体競技予選は立射，団体競技決勝トーナメントは坐射とする。射手間隔は1.8mとする。
 - (3) 個人競技(3人立4射場)
四矢2立(計8射)とし，的中数上位より8位まで決定する。同中のとき，優勝者決定は射詰とし，他は遠近法により決定する。ただし，射詰において，5射目からは24cmの星的を使用する。
優勝決定以外の順位決定は複数の射場同時に行う場合もある。
 - (4) 団体競技(予選・・3人立4射場，決勝・・3人立2射場)
 - ①予選は四矢2立(各自8射，計24射)とする。
 - ②予選の的中総数上位より16チームを通過とする。同中により16位のチームが複数ある場合は各自1射ずつの競射を行い，予選通過チームを決定する。
 - ③決勝は各自4射，計12射とする。
 - ④決勝は抽選により組み合わせを決定し，トーナメント戦により行う。同中の場合は各自1射ずつの競射とする。(同中競射1本目は替矢を使用)
3位・4位決定戦は各自2射，計6射とする。。同中の場合は各自1射ずつの競射とする。(同中競射1本目は替矢を使用)
5位から8位の順位決定は，決勝トーナメント準々決勝の的中総数により決定する。同中の場合は各自1射ずつの競射とする。
 - ⑤決勝トーナメントの組み合わせ抽選方法は次のとおりとする。
 - 7) 予選的中4位以内の学校は，立順1番・8番・9番・16番のいずれかに，抽選によりシードする。なお，同中により5チーム以上が該当する場合には，予備抽選を行い上位4チームを決定した後に，シード抽選を行う。予備抽選ではずれたチームは，予備抽選以外のチームとともに，シード後の抽選に加わる。抽選順番は予選的中順とし，同中の場合は予選立順の順番とする。
 - 4) 7)以外の協議を要するケースが生じた場合は，各県専門委員長が協議して決定する。
 - (5) 競技時間の制限
 - ①競技時間は本座における進行委員の合図によって始まり，最後の射手の離れで終わる。
 - ②1団体12射の行射制限時間を，予選(立射)は5分30秒以内とし，決勝トーナメント(座射)は6分30秒以内とする。30秒前に予鈴で知らせ，終了時点で本鈴の合図をする。
 - ③弦切れ，その他の事故が生じても時間の延長はしない。
 - ④個人競技及び1本ずつの競射については，進行委員または射場審判の指示に従うものとする。
 - (6) 選手の交代
 - ①申込書に記載した立順及び補員の変更は認めない。
 - ②団体競技において，選手の交代は予選1回戦前に1回，それ以後に2回，合計3回まで認める。その際，所定の用紙に記入し，監督が第3控に入るまでに届け出ること。
 - (7) 監督の変更
監督の変更は監督会議の時に申し出ることとする。ただし，生徒の監督は認めない。
 - (8) 審判その他は，(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び本大会要項による。
- 6 参加資格
- (1) 出場選手は，学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手は，各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で，本競技実施要項により，参加資格を得た者に限る。
 - (3) 年齢は平成17(2005)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし，同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) チームの編制において全日制及び定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (5) 転校後6か月未満の者は，参加を認めない。但し，一家転住などやむを得ない場合は，所属高体連会長の許可があれば，この限りではない。
 - (6) 出場する選手は，あらかじめ健康診断を受け，在学する学校の校長の承認を必要とする。

- (7) 参加資格の特例による学校の参加については、中国大会開催基準要項のとおりとする。
- 7 出場数 (1) 個人競技は、男女とも各県12名以内とする。
(2) 団体競技は、男女とも各県6校以内とし、1校1チームとする。
(3) 開催県は、団体競技男女とも7校出場できる。
(4) 前年度優勝校は、上記(2)、(3)以外として出場を認める。
- 8 監督・引率者
(1) 引率責任者は団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
(2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
ただし、各県に規定があり、この基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- 9 表彰 個人競技及び団体競技ともに8位までを表彰する。
個人競技優勝者には優勝盾・団体競技優勝校には優勝杯(いずれも持ち回り)を授与する。
- 10 申込方法 各県専門委員長が下記事項をとりまとめて令和5年11月6日(月)必着で申し込むこと。
申込みの送付先および振込先は、各県専門委員長に別途連絡をする。
(1) 参加申込書
(2) 大会負担金 (団体競技1チーム 21,000円 個人競技1人 2,000円)

11 宿泊・弁当申込方法

宿泊料1人1泊(朝食付)8,600~10,500円(税込)、昼食弁当代700円(お茶付)

名鉄観光サービス(株)岡山支店 西原 宛 11月2日(木)までにFAXまたはメールで申し込むこと。
宿泊及び弁当に関する案内は別紙宿泊・弁当要項参照のこと。

【連絡事項】

1 競技上の留意事項

- (1) 矢摺籐に、意図的な目印と判断されるようなものがある場合、矢摺籐が破損している場合は、布テープを巻いて使用を許可することもあるので、あらかじめ注意すること。
- (2) 射場内で発声による応援をしてはならない。また、射場外の応援は射術上の指示をしてはならない。射場外での応援は、「よし」の発声または拍手にとどめて品位を保つよう心掛けること。競技に差し支えると審判が判断した場合は、注意を与えることがある。
- (3) 矢番え完了後に筈こぼれした矢は無効とする。
- (4) 出場者は、四つ矢の他に替矢を2本持参すること。替矢の1本は筈割れ、他の1本は競射に使用する。
- (5) 取り矢を行うこと。
- (6) 第2控から第1控へ移動するまでに集合しない場合は、その立に限り、その選手は失権とする。

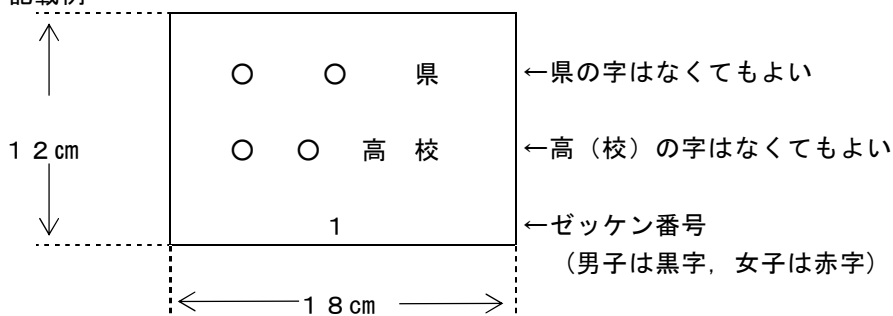
2 競技の服装は次の通りとする。

- (1) 弓道衣・袴・足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一すること。
- (2) 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一すること。襟付き・ハイネックは、不可とする。
- (3) 鉢巻きを使用する場合は、長さは肩までとする。
- (4) リボンその他の装身具は禁止し、長髪の場合はゴム(黒または紺)でとめるよう指導する。
- (5) 服装違反に関する注意に従わない場合は失格とする。

3 ゼッケンについて

選手は次の要領で団体・個人ともにゼッケンを作成し、右腰前に必ずつけること。

- (1) 布地は白色，県名・学校名は黒字とし，選手番号は男子選手は黒字，女子選手は赤字で記入すること。
- (2) 選手番号は団体競技出場選手・個人競技出場選手ともにゼッケン番号とする（団体競技と個人競技の両方に出場する選手は注意すること）。
- (3) 規格及び記載例



- (4) ゼッケン番号は，団体競技は各チームで1～4を決める。（4は補員）
個人競技出場選手の場合は，各県で1～12（男女とも）を決める
- (5) ゼッケンは安全ピンで2箇所をとめる。あるいは紐でとめてもよい。

4 医療について

- (1) 会場には救護所を設置し，軽易な治療及び応急処置を行い，重症者については医療機関を紹介する。
- (2) 宿舎で患者が発生した場合は，宿舎提供者が最寄りの医療機関を紹介する。
- (3) 監督・選手は健康保険証を必ず持参すること。

5 公式練習について

- (1) 11月17日（金）9：00～15：05
- (2) 県ごとの時間制とし，岡山、広島、鳥取、山口、鳥根の順で行う。割り当て時間は各県65分、入れ替え時間は10分とする。行射、矢取、矢取の指示は各県委員長の指示によって行うこと。
岡山 9：00～10：05 広島 10：15～11：20 鳥取：11：30～12：35
山口 12：45～13：50 鳥取：14：00～15：05
- (3) 競技の服装で行い，監督の引率を必要とする。
- (4) 会場準備のため使用を一時中断する場合がある。

6 その他

- (1) 開会式の服装は，競技の服装または制服とすること。
- (2) 巻藁の持ち込みは禁止する。
- (3) 個人情報については，引率者（監督・コーチを含む）の氏名・学校名，参加生徒の氏名・学年・学校名等を，本大会プログラム及び各種大会公式記録への掲載を目的として使用する。肖像権については，大会記録，メディアの取材等で写真撮影することがあるので，ご了解下さい。
※参加申込書の提出をもって，ご了承をいただいたものとして取り扱います。